

平成30年度学校経営方針について

校長 千葉 雅樹

<教育目標>

～自らの生活を開拓し、創造する生きがいを求めて～

- 確かな学力を持ち、自ら学び続ける生徒（高い知性）
- 豊かな心情を持ち、互いに協力する生徒（豊かな心情）
- 健康な身体を持ち、よく働く生徒（健康な身体）

<平成30年度学校経営の重点目標>

「地域とともにある 活力ある学校経営の推進」を目指す
～自ら課題を発見することができる生徒の育成～

<重点達成のキーワード>

「Challenge チャレンジ」

～ 失敗を恐れず挑戦し 最後まで粘り強く取り組む生徒の育成 ～
「 TeamWork Thinking Life 」

<重点達成のための基盤>

「安心して通うことができる学校」

～ 子ども 教職員 保護者・地域の方々にとって ～

「子どもにとって」 安心して通うことができる学校

1 「できた」「わかった」「なるほど」という授業を受けることができる学校

◇主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善

- 1) 問題解決的な学習のより一層の充実
- 2) 「目標」「課題」「振り返り」を意識したユニバーサルデザイン型の授業
- 3) 育みたいねらいを明確にした体験学習の実施

2 自分の居場所がある学校

◇アサーティブ型の思考を基盤とした学級づくり

○まず、相手の話を聞いた上で、自分の話を言えるような環境づくり

◇不登校傾向の子どもの居場所づくり

- 1) いつきても優しく迎え入れる（笑顔、受容と共感）
- 2) 常に状況を把握し、情報を共有する（油断せず、最悪の状況を想定）
- 3) 関係機関との連携を含めた生徒への支援の検討

◇支援が必要な子どもに対する対応

- 1) 特支担任と親学級、特支 CD との綿密な連携
- 2) 生徒の実態に応じた進路指導（保護者との連携）

3 信頼できる先生のいる学校

◇優しく時には厳しく子どもの心に寄り添った生徒指導

- 1) 自分（教師）ができないことを子どもに求めない
- 2) 教師も人間、間違えるときもある。そのときは謝る
- 3) まずは、共感する（子どもの話をしっかりと聞く）

「教職員にとって」 安心して通うことができる学校

1 明るく、笑顔に満ちた学校

◇笑顔で子どもたちの話をすることができる職員室づくり

- 1) 報告・連絡・相談・確認を基盤とした協働体制
- 2) 子どもと向き合うための時間を作るための工夫
(北海道アクション・プランに基づく)
 - ・ 校務のスリム化、行事や会議の精選
 - ・ 部活動 ・ 勤務時間

2 働きがいのある学校

◇教職員の目標（やりたいこと）の明確化

- 1) 学校運営参画意識の高揚（授業，学級経営，行事，分掌業務，部活等）
- 2) 教職員人事評価の活用
- 3) ON と OFF の区別（やるときはやる，休むときは休む）
- 4) 校外への研修への積極的な参加
- 5) 少し高いハードルの設定

◇機能的・機動的な校内体制の構築

- 1) 一人ひとりの教職員に応じたバランスの良い組織づくり
- 2) 学校力を高める校内研修（全教職員に役に立つもの）
 - ・ 授業改善に関わる研究
 - ・ 先生方にとって 必要感のある研修

「保護者・地域の方々にとって」 安心して通うことができる学校

1 いつ行っても、笑顔で話を聞いてもらえる学校

◇敷居の低い学校環境づくり

- 1) 明るい挨拶
- 2) 笑顔で対応
- 3) 校舎は古くても、きれいで清潔な環境（教室，廊下，トイレ等）
- 4) リアルタイムな掲示物（教室，廊下，トイレ等）

2 信頼できる先生のいる学校

◇保護者との良好な関係づくり

- 1) スピード感をもった丁寧な対応
- 2) 約束を守ること
- 3) 期限を決めること

3 学校の様子がよくわかる学校

◇わかりやすく，タイムリーな情報発信

- 1) 学級通信，学年通信，学校だより，教務部，指導部だより等の発行
- 2) ホームページの有効活用

4 保護者・地域とともにある学校

◇地域の方々との交流

- 1) 学校と地域がねらいを共有した学校行事や教育活動の推進（C・S）
- 2) 地域行事への参加
- 3) 地域の巡回等